

2026（令和 8）年 9 月 4 日
科学技術振興機構（JST）

大学発新産業創出基金事業
ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）
第 5 回公募 新規採択課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）における第 5 回公募の新規採択課題 3 件を決定しました（別紙）。

本プログラムは、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルのあるディープテック・スタートアップの創出を目的とします。この目的を達成するため、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもとに事業化マイルストーンおよび研究開発マイルストーンを設定し、両者が一体的に課題を推進します（参考）。

今回の募集は 2026 年 2 月 26 日（木）から 4 月 15 日（水）まで行い、40 件の応募がありました。外部専門家で構成された委員会による書類審査と面接審査を実施し、その結果を基に 3 件の新規採択課題を決定しました。

今後、契約などの条件が整い次第、研究開発を開始する予定です。

なお、本プログラムの詳細については以下のウェブページをご覧ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/deeptech/index.html>

<添付資料>

別紙：大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）
新規採択課題一覧（第 5 回公募審査分）

参考：大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）
概要

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

渡部 博之（ワタナベ ヒロユキ）

E-mail : start@jst.go.jp ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム (D-Global)
新規採択課題一覧 (第5回公募審査分)

課題名	事業化推進機関※1	研究代表者※2	課題概要
アトピー性皮膚炎 の炎症と掻痒を抑制するファースト インクラスの外用 剤開発	ジャフコ グループ 株式会社	理化学研究所 生命医科学研究セン ター 研究員 宮井 智浩	アトピー性皮膚炎患者を対象 にしたファーストインクラス の作用機序を持つ特殊環状ペ プチドを外用剤として開発 し、安全性が高くかつ速効性 のある抗炎症・抗掻痒薬を商 用化するスタートアップを設 立し、グローバル展開を目指 す。
ドーパミンシナプ ス再建による運動 機能回復と病勢進 行抑制を目指す パーキンソン病治 療薬の開発	株式会社慶應イノ ベーション・イニシ アティブ	慶應義塾大学 ヒト生物学-微生物叢- 量子計算研究センター 特任教授 柚崎 通介	シナプス再建により神経回路 を修復・再生する治療薬を実 用化するスタートアップの設 立を目指し、神経難病である パーキンソン病患者に運動機 能回復と病勢進行抑制を同時 にもたらし新薬の臨床開発に 向けた各種試験と、グローバ ル展開に向けた事業開発を推 進する。
光パラメータ制御 機構を内在する レーザー素子の実 現と、時空計測用 途に向けた社会実 装	株式会社みらい創造 インベストメンツ	九州大学 総合理工学研究院 教授 濱口 達史	波長・位相ロック機構を内在 した垂直共振器型面発光レー ザー (VCSEL) を核に、原子時 計向け高安定光源を起点とし て、位相同期アレイ化により LiDAR などの空間センシング、 さらには加工・エネルギー分 野へと展開し、小型・低コス ト・高信頼な光源プラット フォームを世界市場に提供す るスタートアップの創出を目 指す。

※1 事業化推進機関が複数の場合は代表事業化推進機関を記載

※2 所属・役職は応募時点

大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global） 概要

1. 大学発新産業創出基金事業の趣旨

大学発新産業創出基金事業は、スタートアップ育成 5 か年計画（2022 年 11 月政府発表）などを踏まえ、日本における大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援などの実施を可能とする環境の形成を推進します。

2. ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）について

（1）概要

本プログラムはディープテックの技術シーズを核に国際市場への展開を目指す大学等発スタートアップの創出に向けて、概念実証以降のステップに入ることが適切と判断され、審査を経て採択された課題の事業開発と研究開発を支援します。

採択課題は、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となる体制をとり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもと、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルを有するディープテック・スタートアップの創出を目指した取り組みを推進します。

（2）研究開発期間

最長 3 年程度（2029 年 9 月末まで）

（3）研究開発費（研究開発期間総額、直接経費）

原則 3 億円程度まで

※正当な理由がある場合、上限 5 億円

以上